

⑫ 公開實用新案公報 (U)

昭64-51567

⑤Int. Cl. 4
B 62 D 1/18

識別記号

斤内整理番号
 8009-3D

④公開 昭和64年(1989)3月30日

審査請求 未請求 (全4頁)

④考案の名称 車両用チルトハンドル装置

②1 實 願 昭 62-145908

出願 昭62(1987)9月26日

㊦考案者	藤 生 勲	群馬県新田郡笠懸村阿佐美457-2番地
㊦考案者	鹿 貫 誠 治	群馬県桐生市広沢町3丁目4291番地23号
㊦出願人	株式会社山田製作所	群馬県桐生市広沢町1丁目2757番地
㊦代理人	弁理士 岩 堀 邦 男	

⑤ 実用新案登録請求の範囲

ステアリングシャフトを支持するアツパー回動ブラケットとローア固定ブラケットとを支点軸を中心として回動可能に設け、第1歯部を前記アツパー回動ブラケット又はローア固定ブラケットに固着し、第1歯部を固着した反対側のローア固定ブラケット又はアツパー回動ブラケットに基部を軸着したリンクの先端側の第2歯部と前記第1歯部とが互いに内接して噛み合うようにし、そのリンクの先端側にカム部を形成し、その第2歯部を、前記第1歯部に対して噛み合う方向に噛合用引張スプリングにて押圧する、或いは第1歯部に対して離脱する、先端側にピンを有する操作レバーをローア固定ブラケットに回動可能に設け、そのピンを前記カム部に挿入係止したことを特徴とした車両用チルトハンドル装置。

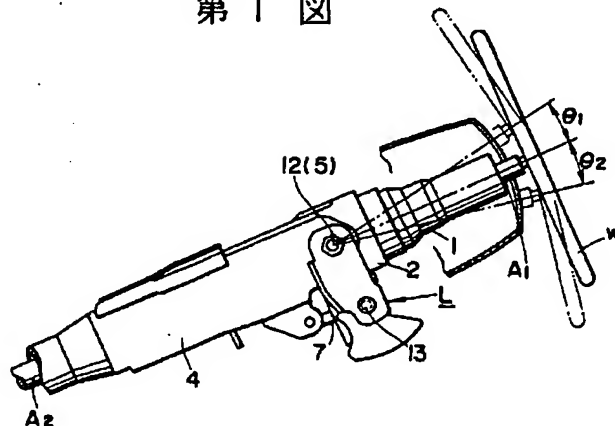
図面の簡単な説明

図面は本考案の実施例を示すものであつて、そ

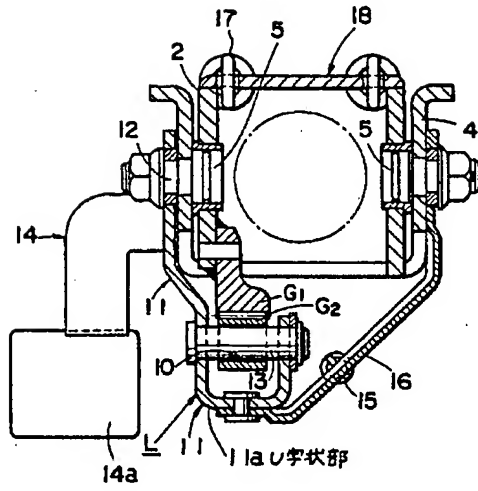
の第1図は本考案を組み込んだハンドル装置の略
 示側面図、第2図は第1図の要部拡大側面図、第
 3図は本考案の要部斜視図、第4図は第3図の要
 部断面図、第5図は適宜の角度にした状態の本考
 案の一部断面とした要部拡大側面図、第6図は第
 5図において第2歯部を離脱した状態の一部断面
 とした要部拡大側面図、第7図は本考案の別の実
 施例の一部断面とした要部拡大側面図、第8図は
 第7図の要部断面図、第9図乃至第11図は第1
 歯部とリンクの第2歯部との啮合状態の略示側面
 図、第12図は従来公知の第1歯部とリンクの第
 2歯部との啮合状態の略示側面図である。

2……アツパー回動ブラケット、4……ローア固定ブラケット、5……支点軸、7……リンク、8……軸着、 G_1 ……第1歯部、 G_2 ……第2歯部、10……カム部、L……操作レバー、11a……U字状部、13……ピン、15……噛合用引張スプリング。

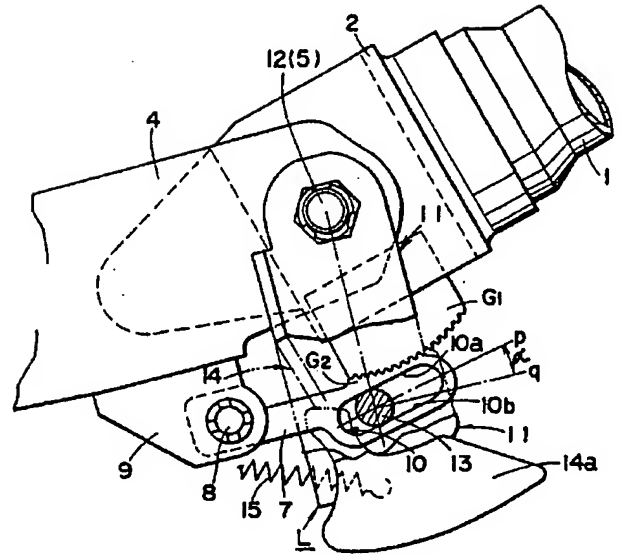
第 1 圖



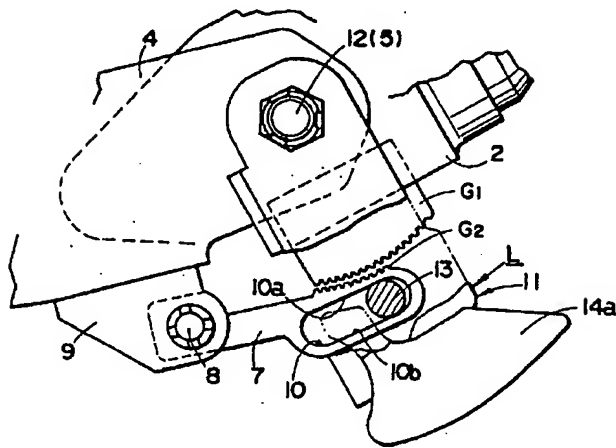
第 4 図



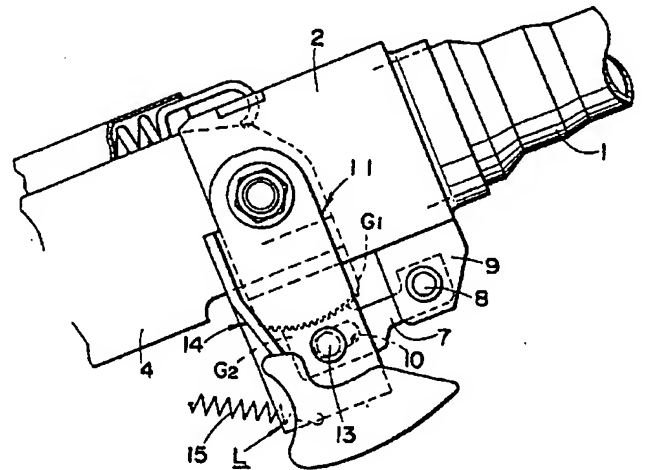
第 5 図



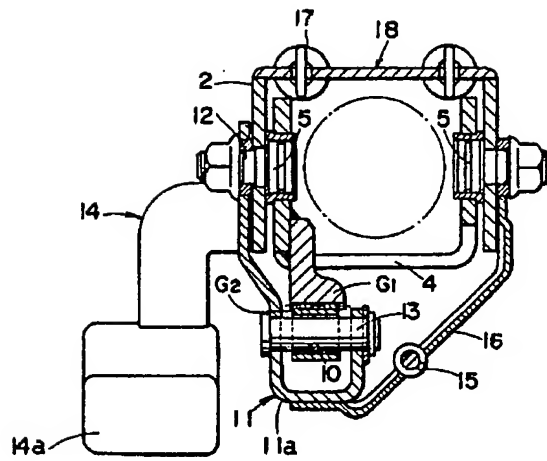
第 6 図



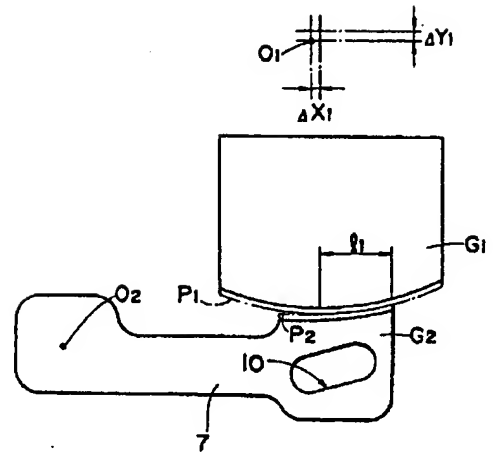
第 7 図



第8図

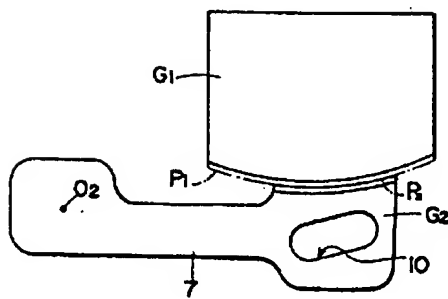


第10図

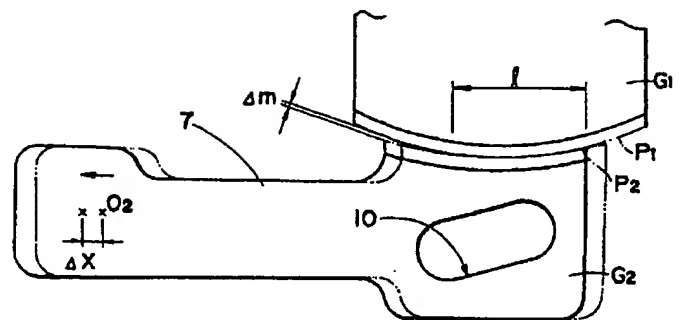


第9図

—O1



第11図



第12図

